

二〇二四年度

入学試験問題

(二月五日午前)

国語

- 一 開始の合図があるまで問題用紙・解答用紙にふれないでください。
- 二 開始の合図があったら、最初に問題用紙六ページ、**解答用紙二枚**を確認してください。
- 三 解答用紙に受験番号と氏名を記入してから始めてください。
- 四 問題についての質問は受け付けません。印刷のはっきりしないところや用事があるときは、声を出さずに手をあげてください。
- 五 字数が指定されている問題は、記号・句読点も一字として数えてください。
- 六 問題用紙は回収しません。
- 七 筆記用具の貸し借りはしないでください。
- 八 試験時間は五十分です。終了五分前になったら知らせます。
- 九 答案を書き終わっても座席からはなれないでください。

習慣病の患者が減ったという話はいつこう聞かない。特定のものを食べ続けていたのでは、スマートな身体も健康な身体も得られないことは、この事実が雄弁に物語っている。(3)

いったいこの妙なブームを支えている背景には何があるのだろうか。戦後、「六つの栄養素」がいわれるようになり、野菜などはミネラルやビタミンなどを含み「体の調子を整える」食品として教えられた。やがて野菜は、たとえばトマトの「リコピン」、サツマイモの「ポリフェノール」などのように、聞いたこともなかった化学物質の供給源にされてしまった。つまり野菜などは③食べてうまいものではなく、食べるべきものになってしまった。こうなると、注目されない苦味や特殊なおいほとんど敬遠される。多くの消費者が、においのないピーマンや苦くないニガウリを食べたいと思っているともいわれる。このままいけば日本人の食は、栄養素を詰めこんだ丸薬を飲みこむだけの、じつに味気ないものになってしまうのではないかとさえ思われるほどだ。

ここで一度真剣に考えなおしてみようではないか。食とはいったい何なのかを。甲斐の俳人、山口素堂の句「^④目には青葉山ほととぎす初かつお」にあるように、古来日本では、食は季節を表していた。「旬」である。食材は俳句の言葉でいうならば、季語だったのである。変化に富んだ日本の風土は、各地に名産品を生んだ。ところが、冷凍・冷蔵技術、包装技術の発達などによって、今やいながらにして日本中の食材を手に入れることができる時代になった。食のグローバル化がそれに拍車をかけた。^⑤生産技術の開発はその食材に固有

の旬をも奪ってしまった。

その土地でしか食べられない名産品を、いくつか復元してもらえないだろうか。あるいは新たに作ってはもらえないだろうか。よその土地を訪ねるなど、忙しい時代になかなか難しいことだが、「旬」や「名産」にもつとこだわってもよいではないか。「そんなの、無理よ」というのもわかるのだが、「〇×限定販売」と銘打ったお土産が人気なのも事実である。今夜食べたいおかずは何ですか？ 栄養はもちろん大事だが、身体が欲するものを食べることも、同じくらい重要なのではないだろうか。

そう、食べたいものを食べる、ということは意外と大事なことがあるらしい。人の脳には、欠乏している栄養素を食べたいと思うような信号を発する働きがあるのではないかといわれる。このことはマウスを使った実験からもうかがわれると、味の素株式会社インベーション研究所の鳥居邦夫さんはいつている。そうであるならば、^⑥この能力をもつと磨くことも大事だということになる。そしておそらく、味覚は、そうしたセンサーの一つなのだろう。

ところが医者の方々は、この「食べたい」とか「味覚を育てる」などということには冷淡であった。健康診断を受けるたび、やれ肥満だの、生活習慣病だのといわれる。あれこれいかにもそれらしい説明を聞くうち、甘いものは控え、酒はほどほどに、味の濃いものは避けよう、と、ついつい食べることに禁欲的になってしまふ。その心理の裏返しだろうか、大食いのタレントがもてはやされる。彼らはあんなに食っても太らない。みていて気持ちいいほどの食べ

ぶりだが、食べたものから得られるエネルギーはいったいどこへいくのだろうか。車に例えれば、ずいぶん燃費が悪い身体ということになる。バラエティ番組にまで目くじらを立てても仕方ないが、しかし、やっている方も苦痛ではないかとみていて思う。そうだとすれば、大食いタレントたちもまた、食を楽しんでいない人たち、ということになる。

(佐藤洋一郎『食を考える』より)

問一 — 線部①「せめて健康で」とありますが、この表現にはどのような気持ちがかめられていますか。説明をした文として最もふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 世の中の健康ブームに取り残されないよう、危機感をもつて過ごそうとしているという気持ち。
- イ 社会の未来が暗い見通しである中で、自分の心身だけは明るく健やかでありたいという気持ち。
- ウ テレビが放送する視聴者の心理につけこんだような内容に、だまされないようにしたいという気持ち。
- エ 自分の人生が決して長くないという不安から、なにかにすがってでも長生きしたいという気持ち。

問二

□にあてはまる文として最もふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア いろいろなものをまんべんなく食べていけばそれでよい
- イ 何をどう食べても健康にはまったく影響がない
- ウ テレビ番組が言うままの食事を続けてはならない
- エ 食材をしっかりと選んで食事をしなければいけない

問三

(あ) ～ (え) にあてはまる語としてふさわしいものを次のア～エの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア 例外的
- イ 健康的
- ウ 魔力的
- エ 自発的

問四

— 線部②「そんなことをしてまでとる食」とありますが、このような食事の仕方とは反対の意味で用いられている表現を、本文中から十字で抜き出して答えなさい。

問五

本文中には次の一文が抜けています。本文中(1)～(3)の中からふさわしい場所を選び、数字で答えなさい。

わが日本国民は、とても付和雷同的などころを持っている。

問六

——線部③「食べてうまいものではなく、食べるべきものになっちゃった」とありますが、どういうことか。筆者の主張を正しく述べている文として最もふさわしいものを次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア ふくまれる栄養素に注目が集まることで、食材としての魅力み以上に、栄養をとるためのものという見方が強まっちゃったということ。

イ においや苦みやがない野菜を求める人が増えることで、その野菜そのものの味わいを大切にしている人が減っちゃってしまうということ。

ウ 「体の調子を整える」食品として教えられた人々が増えたことで、化学物質の供給源としての野菜を避けるようになったということ。

エ 食事を楽しむのではなく、栄養素を詰めこんだサプリメントを飲みこむだけの味気ない食事が生まれてしまったということ。

問七

——線部④の俳句の季節はいつですか。春夏秋冬のいずれかで答えなさい。

問八

——線部⑤「生産技術の開発はその食材に固有の旬をも奪うばっちゃった」とありますが、どういうことか。分かりやすく説明しなさい。

問九

——線部⑥「この能力」とありますが、どういったものか。三十字以内で説明しなさい。

問十

——線部「今夜食べたいおかずは何ですか?」とありますが、あなたが今夜食べたいおかずは何か。「食を楽しむ」という要素を考えて入れつつ、二百字以内で説明しなさい。

二

次のカタカナの文章を読んで、漢字とひらがなと読点を正しく用いて書き直しなさい。

コドモノケンリジヨウヤクニハイツタクニノセイフ
ハジヨウヤクニカカレタケンリヨマモルタメクニノ
ホウリツヲトトノエタリセイサクヲカンガエジツコ
ウシタリシテイクヒツヨウガアル。ソシテジコクノ
セイフガコドモタチノケンリヲジツゲンシマモツテ
イルカドウカコドモノケンリイインカイトヨバレル
センモンイインカイニテイキテキニホウコクシヨヲ
ダスコトニナツテイル。

三

次の(1)～(5)の——線部の漢字をひらがなに、(6)～(10)の——線部のカタカナを漢字に改めなさい。

- (1) 存分に与えられた食事。
- (2) 組成変更は簡単ではない。
- (3) 私の心の中は悲喜こもごもだ。
- (4) ついに頭角をあらわした選手。
健康を保つための食事。
- (5) 地下には細長いクダがうまっている。
やる気を出すにはイキオいが重要だ。
- (6) 親コウコウをしよう。
- (7) いつもとヨウソウが異なる。
- (8) 服をシンチョウウする。
- (9)
- (10)

四

次の(1)～(5)の外來語を漢字二字の熟語で表すとどのように
なりますか。() にあてはまるものを後のア～クの中か
らそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

		(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
オ	ア	ピンチ	ストッパ	バック	イメージ	ヒット
背	後	↓	↓	↓	↓	↓
	カ	()	()	()	印	()
	停	()	()	()	()	中
	キ	境	止	面		
	度					
	ク					
	苦					
	エ					
	命					

